

ライブラリー 情報

松前総合文化センター
ふるさとライブラリー
☎985-4140
開館時間 9:30~18:00

〈11月の休館日〉 3、4、10、17、24、25、28

〈新刊案内〉

- 祇園の教訓 岩崎 峰子／著
- デッドエンドの思い出 よしもとばなな／著
- マンガ金正日入門 李友情作・画、李英和訳・監修
- クライマーズ・ハイ 横山 秀夫／著
- 三年目の真実 西村京太郎／著
- 養老孟司の〈逆さメガネ〉 養老 孟司／著
- ワイルド・ソウル 垣根 涼介／著
- 太ったんでないのっ!? 壇ふみ、阿川佐和子／著

☆上記以外にも多数の新刊を用意しています。

ぜひ、ふるさとライブラリーにお越しください。

おはなしかい

日時 11月22日(土) 11時
場所 文化センター2階 第2研修室
絵本やかみしばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。
皆さん、ぜひ来てみてください。



松前郵便局ロビー展

開催時間 平日 9時~19時

期 間	展示内容	出品団体	代表者
11月4日(火) ~14日(金)	水墨画展	松前町文化協会 絵画部	黒田 玄鳥 ☎984-4113
	陶芸展	松前町 陶芸教室	仙波 保 ☎984-1878

いきいきサポートセンター 「ma★ma・ほっと」 交流会

子育て支援センターの遊びの環境を利用して、利用会員とサポート会員の交流会を行います。登録をされている方は、気軽にご参加いただき、楽しい一時をお過ごしください。

またこの機会に、いきいきサポートセンターについて知りたい方や登録を考えている方の説明を行います。利用内容の具体的な話を聞けるチャンスです。ぜひご利用ください。

なお、登録を希望される方は、印鑑をご持参ください。

日時 11月29日(土) 13時30分~16時

場所 松前町総合福祉センター2階
あそびステーション

その他 すでに登録をされている方は、予約なしで直接お越しください。初めての方は、11月28日(金)までに参加申込みをしてください。

問い合わせ

松前町地域子育て支援センター
☎960-3269

診療室からこんにちは 第78回

痴呆高齢者について考える

兵頭クリニック 兵頭 一嘉

先日「折り梅」を観ました。痴呆の母と介護する家族を描いた映画です。多少教育的傾向を感じましたが、大筋において、痴呆疾患を理解するのに適した内容で、各々の立場で参考になることが多くありました。18年来、私は痴呆疾患を診ていますが、以前は、問題行動を伴う痴呆高齢者を家庭内に封じ込め、すべてを抱え込んで悩み苦しむ介護家族の重苦しさ、患者も家族も押しつぶされてしまいがちでした。今では、誰でも起こりうる病気である痴呆を、地域のサポートシステムでしっかり支えていこうとする、開かれた世の中の流れへと変わっています。

とはいえ、当の痴呆患者さんはもちろん、患者さんを世話する家族には、並々ならぬ負担が課せられています。徐々に進行していく痴呆症状は、その時々にあわせた周囲のよい対応が大切です。軽症期には、本人も家族も、痴呆症状の出現を受け入れにくいものです。つい先ほどのこと

も忘れてしまう自分の記憶が「どこかおかしい。」という自覚があり、気分が滅入って抑うつ的になったり、必要以上に自分の体を心配する心気状態になったり、イライラが募り焦燥的になったりして、患者さん自身の精神的負担は、想像以上のものがあるようです。知的機能が衰えていく過程でも、大人として、人間としての尊厳を保つ接し方を忘れないことです。中等症期には、「物盗られ妄想」といって、自分のお金や物を盗られたと騒ぎ立てたり、迷子になるなどの場所の見当識障害などが目立ち始めたり、家族の負担が大きくなります。重症期には、家族と他人との区別がつかなくなり、言葉の失い簡単な日常会話も困難となります。また、着替えができない着衣失行や失禁、失便、便をさわるろう便などの行動が見られるようになります。

このような痴呆の介護は、正しい理解と協力体制の確保が、なにより重要なのです。